

久世中だより

広報部
信通

久世中学校
久世中学校PTA

学校教育目標◆ 自ら学び、自他を認め、未来を創造する生徒の育成

- 1 ねばり強く学ぶ生徒 2 ちがいを認め合える生徒 3 見通しを持って、共に考え行動する生徒

1年生 企業・大学訪問へ行つきました。1月27日(火)



寒さの厳しい1月末でしたが、2月をむかえて少し寒さのピークも和らいでいきそうです。1年生は1月27日（火）企業・大学訪問へ行つきました。グループごとに経路を調べ、チェックポイントを通過しながら各企業・大学へ行つきました。普段の学校生活では触れる事の少ない「社会の現場」や「学びの最前線」にふれることで、生徒たちは多くの気づきや新しい視点を得ることができました。企業訪問では、実際の職場で働く方々の姿や職場の雰囲気を肌で感じ、「働く」とはどういうことかを具体的にイメージする機会となりました。また自分の将来や進路を考えるきっかけにもなったと思います。大学訪問では、専門的な研究や学びに触れ、「もっと勉強してみたい」「将来はこんな分野に進みたい」という前向きな気持ちが生まれ、自らの可能性を広げる場となりました。これらの訪問で得られた経験は、単なる“見学”にとどまらず、生徒一人ひとりの将来像を形づくる大切な材料となります。実際に目で見て、耳で聞き、肌で感じたことは、これから学習意欲や進路選択に、確かな意味を持つものとなるはずです。本校においても、今後も「社会とつながる学び」を大切にしながら、生徒たちが未来へ踏み出す力を育んでいきたいと思います。

2年生 各高校より出前授業をしていただきました。1月27日(火)

2年生は様々な高校の先生方にご来校いただき、授業を体験させていただきました。高校の授業では、専門性の高い内容や、自ら考え主体的に取り組む学習が数多く展開されており、生徒たちは「学ぶ楽しさ」「考える面白さ」を実感していました。普段とは違う授業内容に真剣に取り組む姿は、ひとり成長したように見受けられました。また各高校の紹介もしていただき、「この高校で学びたい」「もっと勉強をがんばりたい」という意欲が芽生えたのではないかでしょうか。自分の進路を主体的に考えることは、これからの学習意欲にも大きな影響を与えます。今回の体験は、生徒たちにとって、中学校から高校への「学びの橋渡し」となる大切な機会でした。高校での学びを知ることで、これからの目標を定め、進路を実現していく原動力へと繋がっていってほしいと思います。



学校評価アンケート(後期12月)ありがとうございました。詳しくは学校HPをご覧ください。

①生徒について (様々な項目の実現度は学年が上がるにつれて高くなっていく傾向がみられる)

○アンケート結果が高い項目

- ・毎日、朝ごはんを食べている
- ・困ったら相談できる人がいる
- ・楽しく学校生活をおくれている



△アンケート結果が低い項目

- ・学校以外でも読書をしている
- ・見通しを持って計画している
- ・家庭学習を1時間以上している（1・2年生のみ）



②保護者のニーズが高い項目

- ・読書習慣
- ・予測、計画する力
- ・多面的、批判的思考力
- ・家庭学習1時間以上



③教職員が重要だと捉えている項目

- ・読書習慣
- ・気持ちの良い挨拶
- ・家庭学習1時間以上
- ・ルールやマナーの遵守



④まとめ

- ・**読書習慣**が三者とも課題と認識しているため、重点的に取り組む必要がある。
- ・**家庭学習**については特に1・2年生は低い結果であり、保護者と教職員でニーズが高い。
- ・**計画性の向上**について、生徒の実現度が全学年で低く、保護者のニーズが非常に高い。

※3月の学校運営協議会において有識者の方々から結果を分析していただきます。

2月行事予定

久世中学校